

八色西瓜通信 No.3



～定植後の温度管理～

令和6年4月25日
八色西瓜生産組合指導部
JAみなみ魚沼園芸畜産課
南魚沼農業普及指導センター

【生育状況等】

- 定植は順調に進んでいます。
- 定植前に曇天が続くと、軟弱苗になりがちです。
定植後の暑さ・寒さに耐えうる苗に仕上げましょう。
→育苗中は可能な限り「ずらし」を行いましょう。
→定植4~5日前からは、徐々に定植後の環境に
近づけて慣らしましょう。
- マルチ内が乾きやすい状況です。日差しの強い日
は、**葉ヤケ**が発生しやすくなります。
→マルチ内の土壤水分を確認し、定植前~活着まで
十分にかん水しておきましょう。
→定植当日は**根鉢にしつかり給水**しておきましょう。

【定植前のチェック】

- マルチ内の土壤水分は十分か
- 地温は確保したか
(地下15cmで16°C)
- 明渠排水はスムーズに流れるか

【定植当日のチェック】

- 根鉢にしつかり給水したか
- 根鉢とほ場の土に隙間はないか
(手かん水でなじませる)
- トンネルをしつかり固定したか



定植後の7日間(活着まで)は、毎日観察！

- ・天候の変化が大きい時期です。
低温ヤケ・高温ヤケのどちらも発生する可能性があります。活着までは油断せず、目を離さないこと！

[低温ヤケ]

・**発生しやすい条件等**

:早い作型、軟弱徒長、遅霜(無風・晴天の明け方)

・**症 状**

:活着不良、生育遅延、成長点等の組織壊死など

・**対 策**

:定植翌朝に降霜が予想される場合、作業を延期

夕方早めにトンネルを閉めて保温

マルチ内水分を確保(夜間、地熱を伝える)

[高温ヤケ]

・**発生しやすい条件等**

:遅い作型、マルチ・トンネル内乾燥、軟弱徒長、

根張り不良、曇天が数日続いた後の強日射、

トンネル内高温時に一気に換気(温・湿度の急変)

・**症 状**

:活着前→活着不良、生育遅延

活着後→展開葉の白化、枯れ込みなど

・**対 策**

:定植時の手かん水(根鉢とほ場の土の隙間を無くす)

マルチ内(=トンネル内)の水分保持

換気はトンネル内の気温が上昇する前に開始

(気温上昇後に一気に換気すると、湿度急低下でしおれる)



改良整枝栽培のトンネル換気は 生育状況・温度に合わせて実施

※生育初期は、株元側だけを換気。つる先側は保温。

- ・朝の換気開始…30°C(最高気温は35°C以下に抑える)
- ・夕の保温開始(トンネル閉)…25°C(最低気温10°C以上確保)

× 寒すぎ

- ・元葉が小
- ・切込みが極端に深い
- ・葉色が濃すぎる



× 暖かすぎ

- ・元葉が軟弱
- ・葉が広く厚みがない
- ・葉色が全体的に淡い



- ・夕方の保温を早める
- ・日中の換気幅を狭くする

- ・夕方の保温開始を遅くする
- ・朝の換気開始を早める
- ・日中の換気幅を広げる



密閉栽培の穴あけ換気時期は、 生育と温度で判断しましょう

- ・①②のどちらかが当てはまつたら、換気開始

①生育…子づるの第1葉が展開開始

②温度…トンネル内が曇らず、内部気温50°C超え

【お知らせ】

西瓜オンラインシステムの登録について

- ・西瓜オンラインシステムへの登録を希望される方は下記メールアドレスまでメールを送信してください。
→件名は…「西瓜オンラインシステム」
本文に…「自分の名前」を御記入ください。
- ・メールを確認次第、JA から確認メールを送信し、登録完了後に改めてご連絡いたします。

メールアドレス : entik-4@ja-m-uonuma.or.jp

スマホやパソコンで、簡単に
定植調査や着果申告の入力・提出ができます

不明な点・指導が必要なときは下記担当まで連絡ください。
みなみ魚沼農業協同組合 園芸畜産課 関 TEL: 777-3180
南魚沼農業普及指導センター 近藤 TEL: 772-3337